

平成 22 年度

神奈川県立厚木高等学校同窓会

定 期 総 会



日 時：平成 22 年 6 月 27 日(日)午後 1 時 30 分より

会 場：厚木商工会議所 5 階 大会議室

平成 22 年度通常総会 次第

会場：厚木商工会議所 5 階 大会議室
司会進行：事務局長 杉田泰繁

物故者への黙祷

- | | | |
|-------------|-------|------|
| 1 開会の辞 | 副会長 | 梅澤行次 |
| 2 同窓会長あいさつ | 同窓会長 | 近藤俊二 |
| 3 学校長あいさつ | 同窓会顧問 | 荒木高司 |
| 4 来賓紹介、来賓祝辞 | | |

5 議事（議長選出： ）

- | | | |
|-------------------|-------|-------|
| (1) 平成 21 年度事業報告 | 事務局次長 | 石塚 修 |
| (2) 同 本部会計決算報告 | 事務局会計 | 足立原 泰 |
| 同 会計監査報告 | 会計監査 | 大津 博康 |
| | 会計監査 | 佐藤 裕洋 |
| (3) 平成 22 年度事業計画案 | 事務局次長 | 石塚 修 |
| (4) 同 本部会計予算案 | 事務局会計 | 足立原 泰 |

6 報告事項

- | | | |
|----------|-----|------|
| (1) 学校報告 | 事務局 | 須藤福治 |
| ア 進路の状況 | 事務局 | 内田憲夫 |
| イ 部活動の状況 | 事務局 | 坂本修一 |
| (2) その他 | | |

- | | | |
|--------|-----|-------|
| 7 閉会の辞 | 副会長 | 安藤和次郎 |
|--------|-----|-------|

8 講演会

講師 森口賢二（高校 4 4 回）
演題 日本の歌、イタリアの歌、オペラ・アリア

（講演会終了後 集合写真撮影 5 階大会議室）

- | | |
|-------------------|-------------|
| 懇親会 午後 3 時 40 分より | （会場：1 階ロビー） |
| 1 開会の言葉 | 副会長 石川範義 |
| 2 乾杯 | 参加最年長同窓生 |
| 3 懇談 | |
| 4 校歌斉唱、万歳三唱 | |
| 5 閉会の言葉 | 副会長 佐藤忠一 |

平成21年度 事業報告

◎ (年間行事)

21年4.13(月)	創立107周年開校記念日	厚木高校
5.6(振替休日)	第9回 地引き綱会	鶴沼海岸「堀川綱」
5.9(土)	伊勢原戸陵会	伊勢原「こみや」
5.17(日)	大和戸陵会	大和「北京飯店」
5.30(土)	座間戸陵会	座間神社「すいめい」
6.20(土)	愛川戸陵会	愛川「川正旅館」
6.27(土)	平成21年度総会及び懇親会	厚木商工会議所
7.27(月)	厚木連合戸陵会	飯山「元湯旅館」
9.13(日)	相模原両青会	相模原市民会館
9.13(日)	校歌祭練習会	厚木高校
10.10(土)	第4回 かながわ校歌祭	厚木市文化会館
11.21(土)	秦野戸陵会	秦野「商工会館」
11.22(日)	同窓林憶い出の杜に親しむ会	愛川「こまや」
22年2.7(日)	津久井支部会	飯山「元湯旅館」
2.28(日)	御所見戸陵会	御所見市民センター
3.1(月)	第62回 卒業式	厚木高校

◎ (各種事業)

*第4回 校歌祭準備会 10月までに3～4回開催

第5回 校歌祭準備会 3月までに2～3回開催

*支部支援活動

*広報活動 (会報第43号発行 21年6月1日)

平成21年度 収支決算書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:円 -:減収 ▲:支出過)

	項 目	予算額	決算額	増 減
収入の部	1 会費	3,500,000	3,828,000	328,000
	2 入会金	2,268,000	2,172,000	-96,000
	3 寄附金	500,000	256,000	-244,000
	4 総会懇親会参加費	300,000	272,000	-28,000
	5 雑収入	10,000	4,821	-5,179
	6 前年度繰越金	10,873,287	10,873,287	0
	収入合計 (A)	17,451,287	17,406,108	-45,179
支出の部	1 事業費	3,770,000	2,808,895	961,105
	① 各支部等活動参加費	400,000	340,000	60,000
	② かながわ校歌祭	600,000	1,087,972	▲ 487,972
	③ 憶い出の杜維持管理費	400,000	397,675	2,325
	④ 地引き綱開催費	100,000	50,000	50,000
	⑤ 同期会活動助成費	600,000	370,000	230,000
	⑥ 茅賞	70,000	63,500	6,500
	⑦ 部活動補助費	300,000	0	300,000
	⑧ 卒業記念品	200,000	199,238	762
	⑨ 厚高新聞購入費	600,000	300,510	299,490
	⑩ 同窓会資料室整備費	500,000	0	500,000
	2 管理運営費	3,900,000	3,923,578	▲ 23,578
	① 総会等開催費	600,000	815,200	▲ 215,200
	② 出張交通旅費	100,000	108,000	▲ 8,000
	③ 通信費	50,000	44,840	5,160
	④ 印刷複写費	150,000	85,139	64,861
	⑤ 会費振込等手数料	150,000	103,490	46,510
	⑥ 事務用品費	350,000	85,302	264,698
	⑦ 会議費	300,000	624,840	▲ 324,840
	⑧ 組織運営費	2,000,000	1,861,192	138,808
	⑨ 慶弔費	100,000	101,500	▲ 1,500
	⑩ 交際費	100,000	94,075	5,925
	3 広報活動費	1,400,000	788,470	611,530
	① 広報活動検討費	400,000	372,510	27,490
	② 同窓会報発行費	1,000,000	415,960	584,040
	4 雑費	50,000	15,900	34,100
	5 予備費	5,331,287	0	5,331,287
	6 定期預金振替	3,000,000	3,000,000	0
	支出合計 (B)	17,451,287	10,536,843	6,914,444
	次年度繰越金(A)-(B)		0	6,869,265

平成21年度母校教育振興基金収支決算書
(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:円)

(1) 収入の部		
前年度繰越金	3,223,447	
雑収入	961	(預金利息)
合 計	3,224,408	①
 (2) 支出の部		
グラウンド砂飛散防止工事代金	294,525	
旧体育館雨漏り防止工事代金	1,073,100	
テニス部部室鋼製扉修理代金	104,580	
振込手数料	1,470	
合 計	1,473,675	②
 (3) 残 金 ① - ② より	 1,750,733	 (平成22年度へ繰り越し)

平成21年度部活動支援基金収支決算書
(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(1) 収入の部		
前年度繰越金	3,639,803	
雑収入	1,046	(預金利息)
津久井支部	26,000	
合 計	3,666,849	①
 (2) 支出の部		
山岳部	212,704	
ソフトテニス部	216,000	
文芸部	14,980	
吹奏楽部	696,000	
新聞部	117,884	
合 計	1,257,568	②
 (3) 残 金 ① - ② より	 2,409,281	 (平成22年度へ繰り越し)

平成22年5月22日
厚木高校同窓会

財 産 目 録

平成22年3月31日 現在

(単位：円)

1、現金	231,806
2、普通預金	6,637,459
3、定期預金	5,000,000
4、母校教育振興基金	1,750,733
5、部活動支援基金	2,409,281
・	
正味財産	<u>16,029,279</u>

監 査 報 告 書

神奈川県立厚木高等学校同窓会 平成21年度の会計について、帳簿等を慎重かつ厳正に監査した結果、正確に整備・記帳されていて、その内容はいずれも適正であると認めます。

平成22年5月22日

会計監査 石藤 裕洋 

会計監査 大津 博康 

平成22年度 事業計画 (案)

◎ (年間行事)

22年 4.13 (火)	創立108周年開校記念日	厚木高校
5.4 (みどりの日)	第10回 地引き綱会	鶴沼海岸「堀川綱」
5.8 (土)	伊勢原戸陵会	伊勢原「こみや」
5.16 (日)	大和戸陵会	大和「商工会館」
5.16 (日)	関西戸陵会	大阪「ホムグラビシア大阪」
6.19 (土)	愛川戸陵会	愛川「レインボープラザ」
6.20 (日)	海老名戸陵会	海老名「ウイングス」
6.27 (日)	平成22年度総会及び懇親会	厚木商工会議所
7.3 (土)	座間戸陵会	座間神社「すいめい」
7.11 (日)	睦合戸陵会	厚木商工会議所
7.25 (日)	厚木連合戸陵会	飯山「元湯旅館」
8.29 (日)	校歌祭練習会	厚木高校
9.12 (日)	相模原戸陵会	相模原市民会館
9.25 (土)	第5回 かながわ校歌祭	横浜・青少年センター
(11月上旬)	同窓林憶い出の杜に親しむ会	愛川町南山「憶い出の杜」)
11月	秦野戸陵会	秦野「 」
23年2月	津久井支部会	津久井「 」
3月	第63回 卒業式	厚木高校
3月	御所見戸陵会	御所見市民センター

◎ (各種事業)

*第5回 校歌祭準備会 9月までに3～4回開催

第6回 校歌祭準備会 3月までに2～3回開催

*支部支援活動

*広報活動 (会報第44号発行 22年5月1日)

平成22年度 予算(案)

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

単位:円

項 目		予算額	前年度予算額	増減	備考
収入の部	1 会費	3,500,000	3,500,000	0	
	2 入会金	2,170,000	2,268,000	▲ 98,000	7,000円×310人
	3 寄附金	200,000	500,000	▲ 300,000	
	4 総会懇親会参加費	270,000	300,000	▲ 30,000	
	5 雑収入	5,735	10,000	▲ 4,265	
	6 前年度繰越金	6,869,265	10,873,287	▲ 4,004,022	
	収入合計 (A)	13,015,000	17,451,287	▲ 4,436,287	
支出の部	1 事業費	3,920,000	3,770,000	150,000	
	① 各支部等活動参加費	400,000	400,000	0	
	② かながわ校歌祭	400,000	600,000	▲ 200,000	第3回実績
	③ 憶い出の杜維持管理費	400,000	400,000	0	
	④ 地引き網開催費	100,000	100,000	0	
	⑤ 同期会等活動助成費	900,000	600,000	300,000	
	⑥ 茅賞	70,000	70,000	0	
	⑦ 部活動補助費	450,000	300,000	150,000	3万円 × 15部
	⑧ 卒業記念品	200,000	200,000	0	
	⑨ 厚高新聞購入費	500,000	600,000	▲ 100,000	
	⑩ 同窓会資料室整備費	500,000	500,000	0	
	2 管理運営費	4,270,000	3,900,000	370,000	
	① 総会等開催費	850,000	600,000	250,000	
	② 出張交通旅費	170,000	100,000	70,000	
	③ 通信費	50,000	50,000	0	
	④ 印刷複写費	120,000	150,000	▲ 30,000	
	⑤ 会費振込等手数料	130,000	150,000	▲ 20,000	
	⑥ 事務用品費	200,000	350,000	▲ 150,000	
	⑦ 会議費	550,000	300,000	250,000	
	⑧ 組織運営費	2,000,000	2,000,000	0	
	⑨ 慶弔費	100,000	100,000	0	
	⑩ 交際費	100,000	100,000	0	
	3 広報活動費	900,000	1,400,000	▲ 500,000	
	① 広報活動検討費	400,000	400,000	0	
	② 同窓会報発行費	500,000	1,000,000	▲ 500,000	年1回発行
	4 雑費	50,000	50,000	0	
	5 予備費	875,000	5,331,287	▲ 4,456,287	
	6 定期預金振替	3,000,000	3,000,000	0	
	支出合計 (B)	13,015,000	17,451,287	▲ 4,436,287	

2010（平成22）年春の学校別受験・合格・入学者数

国立大 学 校 名	受験		合格		入学	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
愛知教育	1	0	1	0	1	0
岩手	1	0	1	0	1	0
宇都宮	1	0	0	0	0	0
愛媛	1	0	0	0	0	0
大分	1	0	0	0	0	0
大阪	2	1	1	1	1	1
お茶の水女子	3	0	0	0	0	0
岐阜	5	0	0	0	0	0
京都	7	0	0	0	0	0
群馬	1	0	1	0	1	0
神戸	3	0	0	0	0	0
滋賀医科	1	0	0	0	0	0
静岡	1	0	1	0	1	0
信州	1	1	1	1	0	1
千葉	7	0	2	0	1	0
筑波	7	2	4	2	4	2
電気通信	6	3	1	2	0	1
東京	18	2	3	0	3	0
東京医科歯科	1	0	0	0	0	0
東京外国語	8	2	2	0	2	0
東京海洋	1	0	1	0	1	0
東京学芸	4	1	3	0	2	0
東京芸術	2	0	0	0	0	0
東京工業	14	2	6	0	5	0
東京農工	11	0	3	0	3	0
東北	2	2	1	1	1	1
富山	2	0	0	0	0	0
名古屋工業	1	0	0	0	0	0
新潟	2	0	2	0	2	0
浜松医科	1	0	0	0	0	0
一橋	7	5	2	1	2	1
弘前	0	1	0	1	0	1
北海道	2	3	0	1	0	1
山口	1	0	0	0	0	0
山梨	2	0	1	0	1	0
横浜国立	27	3	17	2	15	2
琉球	2	0	0	0	0	0
国立大計	157	28	54	12	47	11

公立大 学 校 名	受験		合格		入学	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
岐阜薬科	1	0	1	0	1	0
国際教養	1	0	0	0	0	0
静岡県立	2	0	0	0	0	0
首都大学東京	36	4	12	2	11	2
都留文科	1	0	1	0	0	0
横浜市立	11	0	3	0	3	0
公立大計	52	4	17	2	15	2

私立大(1) 学 校 名	受験		合格		入学	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
青山学院	120	11	47	5	12	0
麻布	5	1	4	1	1	1
桜美林	3	0	3	0	1	0
学習院	12	2	6	1	1	0
神奈川	17	1	15	1	1	0
神奈川工科	3	0	2	0	0	0
鎌倉女子	1	0	1	0	0	0
関西	1	0	1	0	0	0
北里	26	1	15	0	7	0
岐阜女子	1	0	0	0	0	0
共立女子	2	0	2	0	0	0
杏林	4	0	3	0	2	0
慶応義塾	94	20	31	4	15	2
工学院	2	1	2	1	0	0
国学院	4	1	3	1	0	1
国際医療福祉	3	0	3	0	0	0
国際基督教	5	2	1	1	0	0
国士館	1	0	1	0	1	0
駒澤	10	0	4	0	1	0
埼玉医科	1	0	1	0	0	0
相模女子	2	0	1	0	1	0
芝浦工業	20	2	7	2	1	0
上智	42	11	10	4	3	2
昭和	5	0	4	0	0	0
昭和薬科	6	0	4	0	1	0
女子美術	2	0	1	0	0	0
白百合女子	0	1	0	1	0	0
成蹊	7	2	2	2	0	2
成城	7	1	5	1	1	0
聖心女子	1	1	1	1	1	0
聖路加看護	2	0	0	0	0	0
専修	19	1	13	1	3	0
創価	2	0	2	0	1	0
玉川	12	0	4	0	2	0
多摩美術	4	0	0	0	0	0
中央	147	28	46	25	10	5
津田塾	5	1	1	0	0	0
帝京	2	0	1	0	0	0
東海	12	4	7	4	2	0
東京医療保健	1	0	1	0	0	0
東京音楽	2	0	2	0	0	0
東京経済	0	1	0	1	0	0
東京工科	2	0	2	0	1	0
東京工芸	1	0	1	0	0	0
東京慈恵会医科	1	0	0	0	0	0
東京女子	8	1	2	1	0	1
東京造形	2	0	1	0	0	0
東京電機	3	1	2	1	0	0

卒業時の進学状況（最近6年間）

私立大(2) 学校名	受験		合格		入学	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
東京都市	23	1	8	1	0	0
東京農業	25	0	15	0	6	0
東京福祉	1	0	1	0	0	0
東京薬科	7	0	5	0	4	0
東京理科	69	13	27	9	6	0
同志社	1	0	0	0	0	0
桐朋学園	2	0	2	0	2	0
東洋	6	1	3	1	1	0
東洋英和女学院	1	0	1	0	0	0
日本	19	5	10	4	3	0
日本獣医生命科学	3	0	1	0	1	0
日本女子	28	0	9	0	2	0
日本体育	3	0	3	0	2	0
フェリス学院	3	0	3	0	0	0
法政	94	14	32	9	8	0
星薬科	2	0	2	0	0	0
武蔵	5	0	1	0	0	0
武蔵野	3	0	2	0	0	0
武蔵野美術	4	0	0	0	0	0
明治	262	37	93	26	16	2
明治学院	34	5	20	4	4	2
明治薬科	3	0	1	0	1	0
明星	1	0	1	0	1	0
立教	110	18	47	14	12	0
立命館	3	0	2	1	0	0
早稲田	280	55	90	21	42	10
私立大計	1624	244	644	149	180	28

卒業生進路	2005 (H17) 57期	2006 (H18) 58期	2007 (H19) 59期	2008 (H20) 60期	2009 (H21) 61期	2010 (H22) 62期
国公立大学	56	60	54	52	59	62
私立大学	169	153	180	185	159	180
短期大学	4	1	4	2	1	0
大学校	0	0	0	0	0	1
専修学校等	7	8	2	2	2	2
進学者数計	236	222	240	241	221	245
進学者決定率	75%	70%	76%	76%	82%	77%
卒業生総数	316	319	314	316	270	318

2010.5.2現在

公立短大 学校名	受験		合格		入学	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
公立短大計	0	0	0	0	0	0

私立短大 学校名	受験		合格		入学	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
私立短大計	0	0	0	0	0	0

大学校 学校名	受験		合格		入学	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
職業能力開発総合大学校	1	0	1	0	1	0
防衛大学校	1	0	0	0	0	0
大学校計	2	0	1	0	1	0

専門学校等 学校名	受験		合格		入学	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
慈恵会看護	1	0	1	0	0	0
山野美容	1	0	1	0	1	0
ブリガムヤング大学	1	0	1	0	1	0
立志社日本動物	0	1	0	1	0	1
専門学校等計	3	1	3	1	2	1

第5回 かながわ校歌祭について

- 1 主 催
かながわ校歌振興会（参加同窓会の集まり）
神奈川県教育委員会が共催、今年も参加同窓会出身の県議会議員が参与会を構成し、応援をする。
- 2 日 時
平成22年 9月25日（土） 午後0時から5時まで
- 3 会 場
県立青少年センター（ JR根岸線 桜木町駅下車徒歩10分）
- 4 参加校
秦 野 希望ヶ丘 横浜平沼 小田原 厚木東 横須賀大津
小田原城内 横須賀 上溝 神奈川工業 横浜翠嵐 県商工
湘南 平塚江南 逗 子 横浜緑ヶ丘 大秦野 川崎 横浜立野
光陵 相原 平塚農業 港南台 厚 木
- 5 校歌祭における厚木高校同窓会の役割と役員体制
校歌祭実行委員会・・・副委員長（近藤 俊二） 会計（石塚 修）
第5回かながわ校歌祭（横浜翠嵐校同窓会が主管）
実行委員長・・・栗 原
同 事 務 局・・・横浜翠嵐高校同窓会
同実行部局・・・実行委員（ ） 舞台（ ） 会場（ ）
（ ）
- 6 厚木高校の参加体制
・同窓会員・・・同窓会総会や各支部会での呼びかけで総勢100～120名ほど参加をしたい
※ 今回参加をお願いする支部会は、（座間、相模原、南毛利、玉川・森の里、横浜、川崎/多摩・麻生）

現役生徒・・・50名くらいになるように参加を呼びかけたい
- 7 練習会
8月29日（日）午後1時30分から厚木高校中庭にて練習会を行う。校歌・第一応援歌の練習、校歌祭当日の集合時間・服装・振り付け等の連絡を行う。
さらに、9月5日（日）文化祭に飛び入り参加したい。
- 8 校歌祭終了後の懇親会について
校歌祭終了後（午後5時過ぎに終了予定）バスで関内方面に移動し、ローズホテルにて開催の予定。

第6回かながわ校歌祭は、〇〇〇高校同窓会が実行委員長を務め、10月に横浜で行われる予定です。

講 演 会

演 題：『日本の歌 イタリアの歌 オペラ・アリア』

講 師：森 口 賢 二 氏（高校44回卒・藤原歌劇団団員）

講師プロフィール

（経 歴）：厚木市立小鮎中学校卒業
神奈川県立厚木高校卒業
国立音楽大学音楽部声楽学科入学、卒業
国立音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻（オペラコース）修了
現在、藤原歌劇団団員

（主な受賞歴、出演歴）：

第35回、第36回日伊声楽コンクール入選。

第68回日本音楽コンクール声楽部門（オペラ・アリア）入選。

第22回飯塚新人音楽コンクール第1位入賞。

第47回 Voci Verdiane（ヴェルディの声）国際コンクール、ファイナリスト。

第36回ローマ・フェスティヴァル2007国際コンクール第1位入賞。

オペラのレパートリーは「ドン・ジョヴァンニ」「セビリアの理髪師」「リゴレット」等20演目26役、コンサートソリストとしても、ベートーヴェン「第九」、フォーレ「レクイエム」、グノー「聖セシリア荘厳ミサ」等に出演。

2001年、伊ローマに留学。

留学中、ローマのオリンピコ劇場にて「リゴレット」「セビリアの理髪師」に出演。アブルッツォのタリア劇場では、「カヴァレリア・ルスティカーナ」のアルフィオ役、「愛の妙薬」のベルコーレ役で出演。その他、イタリアにて数々のコンサートに出演し、2003年に帰国。

2004年に藤原歌劇団に入団。

チョン・ミョンフン指揮「カルメン」で、エスカミーリョ役のカヴァーを務め、富山オーバードホールでの公演では、モラレス役で出演。

2005年藤原歌劇団公演「椿姫」では、ジェルモン役のカヴァーを務める。

愛知万博公演「蝶々夫人」の神官役で、指揮者のニコラ・ルイゾッティ氏、東京芸術劇場での「オテッロ」ハイライトのイアーゴ役で、世界的テノールのジュゼッペ・ジャコミーニ氏と共演。

2006年、サントリーホールでの「ファルスタッフ」のフォード役で、世界的バリトン、レナート・ブルゾン氏、藤原歌劇団公演「ランスへの旅」（東京文化会館）トロンボノク男爵役では、ロッシーニの権威、アルベルト・ゼッダ氏と共演。

2006年、文化庁の新進芸術家海外留学制度に合格し再びイタリアへ留学。

2007年夏、ローマでフリッツ・マラッフィ指揮「ファルスタッフ」フォード役で出演。

2008年帰国後、帝国ホテルにおいて、「セビリアの理髪師」フィガロ役で出演。

富山オーバードホールにて、チョン・ミョンフン氏と「ラ・ボエーム」ショナール役で共演。藤原歌劇団公演「ラ・ボエーム」でもショナール役で出演。

2009年は、オーチャード・ホールで、日本オペラ「天守物語」姫川図書之助役で主演。

サントリーホールの「カルメン」では、モラレス役でヴェッセリーナ・カサロヴァと共演。

帝国ホテルでは、「チェネレントラ」ダンディーニ役で出演。

東京文化会館での藤原歌劇団公演「愛の妙薬」では、ベルコーレ役で出演。

2010年9月、愛知県芸術劇場での「ホフマン物語」にシュレーミル/ヘルマン役で出演予定。

神奈川県立厚木高等学校同窓会 会則

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、神奈川県立厚木高等学校同窓会(略称「戸陵会」と称する。

(事務局)

第2条 本会は、事務局を神奈川県立厚木高等学校(以下「母校」という。)内に置く。

(目的)

第3条 本会は、会員相互の親睦、交流を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 会員相互の親睦に関する事業
- (2) 母校の発展向上に関する事業
- (3) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(会員)

第5条 本会は、次の会員により組織する。

- (1) 正会員 神奈川県立第三中学校、同県立厚木中学校及び同県立厚木高等学校の卒業生並びにこれらに在学したことがある者
- (2) 特別会員 母校の現職員及び旧職員並びに役員会の承認を得た者

第2章 役員等

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 監 事 2名

(役員を選任及び任期)

第7条 役員を選任は、次のとおりとする。

- (1) 役員は、正会員の中から選任し、総会において承認する。
- (2) 前号に規定する役員の候補者は、別に定める役員選考委員会において選考する。
- 2 役員任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 会長の在任期間は、連続して2期を超えることができない。
- 4 役員が欠けた場合における補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 役員は、任期満了後であっても、後任者が就任するまでは、引き続きその職務を行うものとする。

(役員の仕事)

第8条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- (3) 監事は、事業及び会計を監査する。

(理事)

第9条 理事は、会長並びに第12条に規定する支部の推薦により、役員会の承認を得て、会長が委嘱する。

2 理事は、理事会を組織し、本会の事業が円滑に推進されるよう協力するとともに、必要に応じて会長に建議をすることができる。

3 理事の任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。

4 理事が欠けた場合における補欠理事の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局)

第10条 本会に事務局を置く。

2 事務局は、事務局長、事務局次長、校内役員及び会計で構成し、会長が委嘱する。

3 事務局長は、母校及び会員との連絡・調整、会議の招集事務、その他本会の庶務を行う。

4 事務局次長は、事務局長を補佐し、事務局長に事故ある時は、その職務を代行する。

5 校内役員は、事務局長及び事務局次長を補佐し、本会及び母校との連絡・調整を行う。

6 会計は、本会の出納管理を行う。

(顧問等)

第11条 本会に、名誉会長、顧問及び卒業回別役員を置くことができる。

2 名誉会長は、会長経験者で、本会の発展に著しい貢献があった者について、役員会の承認を得て会長が委嘱する。

3 顧問は、本会の活動を積極的に協力支援する者について、役員会の承認を得て会長が委嘱する。

4 卒業回別役員は、本会と各同期会員との連携強化のための連絡・調整を行う。

第3章 支 部

(支部)

第12条 本会は、役員会の承認を得て各地域等に支部を置くことができる。

2 支部は、第3条の趣旨に基づいて会則を定め、本部との緊密な連携のもとに、必要な活動を行うものとする。

3 支部は、その名称、活動する地域、役員名、事務所等を会長に届け出るものとする。

第4章 会 議

(総会)

第13条 総会は、本会の最高議決機関であり、通常総会と臨時総会を開催する。

2 総会の議長は、理事のうちから総会の議決を得て選任する。

3 総会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数であるときは議長の決するところによる。

(通常総会)

第14条 通常総会は、毎年1会計年度ごとに開催し、会長が招集する。

2 通常総会は、次の事項を議決するものとする。

(1) 予算及び事業計画を定めること

(2) 決算及び事業報告の認定

(3) 役員を選任

- (4) 同窓会会則の変更
- (5) その他本会の運営に関わる基本的事項
(臨時総会)

第15条 臨時総会は、理事の過半数から要求があったとき、又は会長が必要と認めるときは、これを招集する。

(役員会)

第16条 役員会は、会長、副会長及び監事をもって構成する。

2 役員会は、会長が招集し、議長は会長がこれにあたる。

3 役員会は、次の事項について審議する。

- (1) 総会に諮るべき事項
- (2) その他本会の管理及び運営に必要な事項

第5章 会 計

(会費等)

第17条 本会の経費は、次の収入をもって充て、資金の運用については、別に定める。

- (1) 入会金 7,000 円
- (2) 会 費
 - ① 年会費 2,000 円
 - ② 10年会費 18,000 円
 - ③ 終身会費 30,000 円(ただし、年齢60歳以上の会員に限る。)
- (3) 寄付金
- (4) 臨時会費及びその他の収入

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第6章 会則改正等

(会則の改正)

第19条 この会則は、総会において出席者の3分の2以上の同意がなければ、改正することができない。

(委任)

第20条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が役員会に諮り決定し、総会において報告する。

附 則

1 本会則は、平成18年8月12日から施行する。

付 録

- 1 同窓会会則(昭和58年8月施行。以下「旧会則」という。)は、廃止する。
- 2 第18条の規定にかかわらず、平成18年度の会計年度は、平成18年8月12日から始まる。

校歌

作詞 荒川義治
作曲 深山桂

- 一、戸室の丘辺旭日さして
三剣光り輝く見ずや
阿夫利の高嶺相模の流れ
高きに憧れ長きを慕う
相州健児 あゝわが友
- 二、文化の流れ渦巻くところ
御国の理想いかしく立てり
剛毅のかいに和平のかじに
いざ国進めん雄々しく猛く
相州健児 あゝ我が友
- 三、我等は若し我等は強し
我等の前途光明みてり
思えば昔御国の為に
尽くせし祖先の功は高し
相州健児 あゝ我が友

第二応援歌

- 一、あゝ青春の誇なる
若き命の栄光を
たゝえて燃ゆる感激の
血潮は紅し火の如く
- 二、人生意気に感じては
覇者を夢みる若人が
研鑽の日を伏仰する
天地はなべて秋の色
- 三、臥龍ヶ丘を今立ちて
勝算すでに胸のうち
あゝ堂々の中原に
進みて凱歌あげんかな
進みて凱歌あげんかな